

震災避難所に向けた温かいお風呂・シャワー専用コンテナ号が完成。

4月23（土）に試験運転を実施。



東日本大震災より1ヶ月が経ち、避難所での生活が長期化しています。

お風呂の無い避難所がほとんどで、自衛隊の調査では1週間に1回以上入浴できない人が8割となっています。避難所では最低限の生活のためにも、水洗設備を整備し衛生を保つことが早急に求められています。

20フィート・コンテナを利用したお風呂・シャワーユニットの第1号を製作しました。

お風呂・シャワーの入ったコンテナユニットを台車に積んだまま4トントラックで避難所を巡回し、衛生環境の悪化する避難所生活をされている方々に温かいお風呂・シャワーを届けたいと思います。

つきましては、4月23日（土）に、完成試験運転を行います。

ご厚意をいただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



日時：平成23年4月23日（土）

場所：被災建築工場

福島県いわき市427-2(2)東武東上線八戸駅東口、東1150号 2F-2014(002) 088-5027

平成23年4月20日

福島博建築研究所 福島博

福島市中央区赤坂2-4-8

092-714-4391 |a.furukawa@fbc.jp

避難所へ届かいお風呂・シャワー避難コンテナ号の提案

東日本大震災より1ヶ月が経ち、避難所での生活が長期化しています。

お風呂の無い避難所がほとんどで、自衛隊の提供では1週間に1回以上入浴できない人が8割となっています。避難所では最低限の生活のためにも、水洗設備を整備し衛生を保つことが早急に求められています。

20フィート・コンテナを利用したお風呂シャワーユニットの第1号を製作しました。

お風呂・シャワーの入ったコンテナユニットを荷台に積んだまま4トントラックで避難所を巡回し、衛生環境の悪化する避難所生活をされている方々に届かいお風呂・シャワーを届けます。

下記概要により、巡回コンテナ号の避難所支援を行います。

トラックの支援や巡回するボランティアの内容は下記のように考えています。

記

1. 利用概要

地域を決め、毎日巡回する。目安として一日約100～150人利用できる。

〔一人20分で、6人が同時に使えるので、6×60分/20分＝1時間18人。〕

→1日8時間で18人×8時間＝144人。 ※100人程度の利用を想定しています。

稼働と準備・後片付けを午前中に扱い、午後12～8時まで稼働。〕

2. 費用

人件費（一人専任）→25万円

ガソリン → 5万円

トラック利用料 → 15万＋30日＝5000円（※15万円で借りられるかは設定で付

録費 → 2万円

合計 →32.5万円/月 ×6ヶ月 →約200.0万円

（この金額は避難所からの要望があれば、

災害救助法により支援が受けられるかの確認が必要となります。）

3. 仕事内容

避難所に着きトラックに積んだまま設置をし、水を貯めガスを接続して湯の状況を確認する。

湯水はコースで近くの放水先へつないでいく。

※、避難所へ行き、接続を行う。オープン後は設備の管理をする。

4. 避難所条件

・水が供給できること

・排水が出来ること

・水、電気費用は避難所持ち。

・4トントラックが設置できるスペースがあること。